

九州の特徴的な産業



写真提供:トヨタ自動車(株)

日本有数の自動車生産拠点

- ◆ 九州の自動車生産能力は150万台を超え、生産台数の全国シェアは約15%を占めています。今では、1,200社を超える自動車関連企業が、九州全体に裾野を広げています。(2020年)

〔主な企業例：トヨタ自動車九州、日産自動車九州、ダイハツ九州など〕

環境リサイクル、再生可能エネルギー関連企業の集積

- ◆ 九州では、公害克服の経験を通じて、リサイクル、土壌・水質浄化等の環境リサイクル技術が集積しています。また、九州は太陽光や地熱等、豊富な再生可能エネルギー資源を有し、エネルギー分野においても先導的な地域になっています。さらに、近年アジアを中心として、環境技術の海外展開等が増加しています。

〔主な企業例：ワイビーエム、清本鐵工、協和機電工業など〕

バイオ・医療機器・コスメ関連機関の集積

- ◆ 九州は、みそ・しょうゆ・焼酎等の伝統的な発酵産業に加え、健康食品産業などのバイオ関連の企業・大学・研究機関が集積しています。
- ◆ 九州地域では、大分県から宮崎県に広がる東九州メディカルバレー地域を中心に、産学官が連携し、新たな医療機器等の開発・事業化に向けた取組が推進されています。
- ◆ 佐賀県唐津市・玄海町では、海外との連携協力により化粧品関連産業の集積を目指す「唐津コスメティック構想」の推進に取り組んでいます。

〔主な企業例（医療関連）：旭化成、東郷メディキットなど〕

高付加価値の半導体生産

- ◆ 九州は、1970年代から「シリコンアイランド」と呼ばれ、現在、半導体の生産金額7,640億円、日本の約44%のシェアを占め、1,000社を超える半導体関連企業が集積しています。(2019年)

〔主な企業例：ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング、ルネサスエレクトロニクス、三菱電機など〕



豊かな食・郷土料理

- ◆ 九州は、農業産出額が全国の約2割の食糧供給基地であり、その構成は、畜産、野菜、米、果樹が中心で、多様な品目構成となっています。最も産出額が大きいのは畜産部門で、全国シェアの25%を占めます。
- ◆ 食品の輸出も盛んで、九州各地のブランド牛や、ブリやハマチなどの水産物、野菜や果実は海外で人気。また、緑茶の輸出量も増加しています。
- ◆ 九州の肉や魚、野菜や果物などは種類が豊富な上、新鮮で質も高く、「九州の食べ物は安くて美味しい」と国内外の観光客からも好評です。また、焼酎や日本酒などお酒の生産地としても有名です。



ラーメン(福岡県)



呼子のイカ(佐賀県)



卓袱料理(長崎県)



車えび(熊本県)



関さば・関あじ(大分県)



宮崎牛(宮崎県)



黒豚しゃぶしゃぶ(鹿児島県)